

## 『人を生かす命のパン』 ヨハネ6:41-59

- 6:41 ユダヤ人らは、イエスが「わたしは天から下ってきたパンである」と言われたので、イエスについてつぶやき始めた。
- 6:42 そして言った、「これはヨセフの子イエスではないか。わたしたちはその父母を知っているではないか。わたしは天から下ってきたと、どうして今いうのか」。
- 6:43 イエスは彼らに答えて言われた、「互につぶやいてはいけない。
- 6:44 わたしをつかわされた父が引きよせて下さらなければ、だれもわたしに来ることはできない。わたしは、その人々を終りの日によみがえらせるであろう。
- 6:45 預言者の書に、『彼らはみな神に教えられるであろう』と書いてある。父から聞いて学んだ者は、みなわたしに来るのである。
- 6:46 神から出た者のほかに、だれかが父を見たのではない。その者だけが父を見たのである。
- 6:47 よくよくあなたがたに言うておく。信じる者には永遠の命がある。
- 6:48 わたしは命のパンである。
- 6:49 あなたがたの先祖は荒野でマナを食べたが、死んでしまった。
- 6:50 しかし、天から下ってきたパンを食べる人は、決して死ぬことはない。
- 6:51 わたしは天から下ってきた生きたパンである。それを食べる者は、いつまでも生きるであろう。わたしが与えるパンは、世の命のために与えるわたしの肉である」。
- 6:52 そこで、ユダヤ人らが互に論じて言った、「この人はどうして、自分の肉をわたしたちに与えて食べさせることができようか」。
- 6:53 イエスは彼らに言われた、「よくよく言うておく。人の子の肉を食べず、また、その血を飲まなければ、あなたがたの内に命はない。
- 6:54 わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者には、永遠の命があり、わたしはその人を終りの日によみがえらせるであろう。
- 6:55 わたしの肉はまことの食物、わたしの血はまことの飲み物である。
- 6:56 わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者はわたしにおり、わたしもまたその人におる。
- 6:57 生ける父がわたしをつかわされ、また、わたしが父によって生きているように、わたしを食べる者もわたしによって生きるであろう。
- 6:58 天から下ってきたパンは、先祖たちが食べたが死んでしまったようなものではない。このパンを食べる者は、いつまでも生きるであろう」。
- 6:59 これらのことは、イエスがカペナウムの会堂で教えておられたときに言われたものである。

## ●序論

今日お読みしたところでもイエスさまが言われた言葉。先週もいくつも見ましたね。

:35 イエスは彼らに言われた、「わたしが命のパンである。わたしに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決してかわくことがない。

同じように、今日お読みしたところでもイエスさまは、

:48 「わたしは命のパンである。」語りました。

その中でこの節の前にそのすべてをハッキリわからせる言葉が記されています。

：47 よくよくあなたがたに言うておく。信じる者には永遠の命がある。

今日のところを読み進めていく中で、何度も出てくる「パンを食べる」また「肉を食べる」「血を飲む」と表現されているのは、何よりも神のひとり子、救い主イエス・キリストを信じることでした。そしてそのなされる御業を、神さま由来のものと受け入れるということだとわかるのです。

これはのちに、キリストが、全ての人の罪のために十字架ので死なれ、贖いを成し遂げられた、神のわざであることが分かります。それは3章にもつながる者です。

3:16 神はそのひとり子を賜ったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。

## ●本論

### I. つぶやく人、信じる人の違い

6:41 ユダヤ人らは、イエスが「わたしは天から下ってきたパンである」と言われたので、イエスについてつぶやき始めた。

、今日イエスさまの語られる言葉をめぐって、民衆はつぶやきました。

ヨハネは、ここからはこの人たちを「ユダヤ人」という風に表現しています。

それは、単に民族を表す言葉ではなく、イエスさまを信じない人々であり、イエスさまに敵対する人たちのことを、そう呼んでいるのです。

6:42 そして言った、「これはヨセフの子イエスではないか。わたしたちはその父母を知っているではないか。わたしは天から下ってきたと、どうして今いうのか」。

彼らは、自分たちはイエスの事をよく知っている。その父母も知っている。わかっている。だから自分を天からの者だというのはけしからん…というつぶやきでした。

この事はこの福音書が記された数十年後の時代にも及んでいた様子がわかります。

イエスさまは、最も低くお生まれ下さった。すべての人の贖いとしてご自身の命をささげるためです。しかしそのことが、ユダヤ人たちには「信じられない・受け入れられない」というつまずきとなったのです。

ここでイエスさまは答えられました。

6:43 -44 …「互につぶやいてはいけない。わたしをつかわされた父が引きよせて下さらなければ、だれもわたしに来ることはできない。わたしは、その人々を終りの日によみがえらせるであろう。

イエスさまのことが分かる。イエスさまを信じること。そのためには、神さまが引き寄せて下さること、つまり恵みが必要なのだと語ります。

覚えるべきは、イエス・キリストは神の知恵、神の力、わたしたちの知恵と理解をはるかに超えた方だということです。のちのパウロは語ります。

1コリント 1:23 しかしわたしたちは、十字架につけられたキリストを宣べ伝える。このキリストは、ユダヤ人にはつまずかせるもの、異邦人には愚かなものであるが、

1:24 (神に) 召された者自身にとっては、ユダヤ人にもギリシヤ人にも、神の力、

神の知恵たるキリストなのである。

だから、ここでイエスさまは語ります。

6:45 預言者の書に、『彼らはみな神に教えられるであろう』と書いてある。

父から聞いて学んだ者は、みなわたしに来るのである。

聖書を通して、父なる神さまとその教えに素直に目を向けるならば、イエスさまのところに來ることができると。

よく私はた自分自身に問います。「教えられやすい人であるだろうか」と。

1:25 神の愚かさは人よりも賢く、神の弱さは人よりも強いからである。

だからこそ、自分がその知恵の間にかしらを低くできているだろうか…と。

そして私たちは、神の知恵に頼って、「信じる」ことの幸いをら聞くのです。

6:47 よくよくあなたがたに言うておく。信じる者には永遠の命がある。

## II. 命のためのパンを知る

6:48 わたしは命のパンである。

6:49 あなたがたの先祖は荒野でマナを食べたが、死んでしまった。

6:50 しかし、天から下ってきたパンを食べる人は、決して死ぬことはない。

イエスは、満腹になるためのパンではなく、命を与える霊的なパンが語っています。

イエスさまは霊的な世界、「人を生かす命」としてご自身を示されたのです。

どれほど人は理解を寄せることができたでしょうか？ 少なかった…

けれどもヨハネはこのイエスさまのこの言葉を、当時のクリスチャンに、そしてわたしたちに書き記すことで、迫るのです。

この方を信じ、命のパンとして食することで、永遠の命を得ることができると。

わたしは、ここで「人を生かす命のパン」と題しました。

それは、救いというものがこのイエスさまとの命と安心、祝福と希望に満ちた永遠の関係の中に入れられることを、意味するものだからです。

永遠の命とは、祝福に満ちた神さまとの関係です。それは神の子とされる祝福です。

同じヨハネはその手紙の中ではっきり言います。

1ヨハネ4:9 神はそのひとり子を世につかわし、彼によってわたしたちを生きるようにして下さった。

賛美「ああ恵み」はその歌詞で、訴えます。

「罪に見てる世界、そこに住む世びとに、命得よとイエスは、血しお流しませり」と

## III. 食えることが一大テーマです。

6:53 イエスは彼らに言われた、「よくよく言うておく。人の子の肉を食べず、また、その血を飲まなければ、あなたがたの内に命はない。

6:54 わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者には、永遠の命があり、わたしはその人を終りの日によみがえらせるであろう。

6:55 わたしの肉はまことの食物、わたしの血はまことの飲み物である。

キリストを信じて、救いをいただき、キリストとともに生き抜くということは、まさにこの肉と血にあらわされた、十字架の御業と切り離せない。

このメッセージは、ヨハネによってこの福音書が記された時代の人々に強く迫る者です。ただ心で感動し、信じて終わりではないということです。

イエス・キリストの肉と血を食べること、つまり信じて聖餐にあずかることで、イエスさまがどれほどわたしを愛し愛の絆があるかということを知る経験となります。

ここに命の交わり、愛の交わりがある。だからイエスさまはこう強調するのです。

6:56 わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者はわたしにおり、わたしもまたその人におる。

6:57 生ける父がわたしをつかわされ、また、わたしが父によって生きているように、わたしを食べる者もわたしによって生きるであろう。

6:58 天から下ってきたパンは、先祖たちが食べたが死んでしまったようなものではない。このパンを食べる者は、いつまでも生きるであろう」。

その交わりは、わたしたちのこの肉の体が死を迎えても、失われることはありません。

イエスさまははっきりとこの所で4度目に同じ言葉で、はっきりと語られている言葉を聞いておきたいのです。

6:54 わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者には、永遠の命があり、わたしはその人を終りの日によみがえらせるであろう。

わたしたちはこのイエス・キリストによって、永遠の命にあずかっている。このことを心から確信し、感謝して、聖餐式にあずかりましょう。